



平成28年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年7月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホテル、ニューグランド

コード番号 9720 URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 濱田 賢治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 岸 晴記

TEL 045-681-1841

四半期報告書提出予定日 平成28年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年11月期第2四半期の業績(平成27年12月1日～平成28年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第2四半期	2,682	4.3	△5	—	△6	—	△105	—
27年11月期第2四半期	2,571	△8.0	△82	—	△82	—	△19	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第2四半期	△91.12	—
27年11月期第2四半期	△16.45	—

(注)平成27年6月1日付で、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年11月期第2四半期	11,802	7,889	66.8	6,797.18
27年11月期	12,272	8,012	65.3	6,902.89

(参考)自己資本 28年11月期第2四半期 7,889百万円 27年11月期 8,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年11月期	—	0.00	—	—	—
28年11月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の業績予想(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,350	△20.4	△960	—	△960	—	△890	—	△766.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年11月期2Q	1,171,280 株	27年11月期	1,171,280 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

28年11月期2Q	10,648 株	27年11月期	10,501 株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年11月期2Q	1,160,703 株	27年11月期2Q	1,160,942 株
-----------	-------------	-----------	-------------

(注)平成27年6月1日付で、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな景気回復の兆しが見えてきたものの、一方では急激な株安や円高に見舞われ、中国をはじめとする新興国の景気減速傾向など、先行きは未だ不透明な状況であります。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間の売上高は、2,682,665千円（前年同四半期比4.3%増）となりました。

販売費及び一般管理費は1,808,334千円（前年同四半期比1.8%減）となり、営業損失は5,700千円（前年同四半期は82,465千円の営業損失）、経常損失は6,703千円（前年同四半期は82,096千円の経常損失）となりました。

また、当第2四半期累計期間の四半期純損失は、105,759千円（前年同四半期は19,098千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会（婚礼）需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ホテル事業)

ホテル事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,653,726千円（前年同四半期比4.4%増）、営業損失20,737千円（前年同四半期は97,625千円の営業損失）となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門649,206千円（前年同四半期比2.4%増）、レストラン部門668,734千円（前年同四半期比9.1%減）、宴会部門1,097,947千円（前年同四半期比14.1%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高28,938千円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益15,037千円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の分析

(資産)

資産合計は11,802,553千円（前事業年度末比469,977千円減）となりました。

主な要因は現金及び預金137,330千円の減少や、有形固定資産418,874千円の減少などです。

(負債)

負債合計は3,913,533千円（前事業年度末比346,272千円減）となりました。

主な要因は未払法人税等57,700千円の減少や、前受金74,544千円の減少、流動負債のその他178,877千円の減少などです。

(純資産)

純資産合計は7,889,019千円（前事業年度末比123,704千円減）となりました。

主な要因は利益剰余金180,228千円の減少や、その他有価証券評価差額金14,799千円の減少、土地再評価差額金71,802千円の増加などです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ137,330千円減少し、2,201,950千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は127,479千円(前年同四半期は230,557千円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純損失159,742千円、減価償却費177,743千円、減損損失204,661千円、前受金の減少額74,544千円、未払消費税の減少額161,799千円、法人税等の支払額58,048千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の増加は19,195千円(前年同四半期は262,853千円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出40,160千円、無形固定資産の取得による支出9,218千円がありましたが、有形固定資産の売却による収入75,574千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は29,046千円(前年同四半期は29,345千円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額28,706千円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年4月7日に公表しました「平成28年11月期 第1四半期決算短信[日本基準] (非連結)」の数値を据え置いておりますが、平成28年11月期第2四半期業績の影響及び本館大規模改修第二期工事期間(6月～9月)の売上、工事経費の推移を精査し、確定次第速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(表示方法の変更)

四半期キャッシュ・フロー計算書

前事業年度までは「営業活動によるキャッシュ・フロー」を直接法により表示しておりましたが、当第2四半期累計期間から間接法による表示に変更いたしました。これは損益計算書の損益と資金収支との関連を明瞭に表現し、他社との比較を容易にするためであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期累計期間の四半期キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。前第2四半期累計期間の直接法による「営業活動によるキャッシュ・フロー」は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日)
営業収入	2,658,395
原材料又は商品の仕入れによる支出	△957,954
人件費の支出	△831,522
その他の営業支出	△771,858
小計	97,058
利息及び配当金の受取額	1,662
補助金の受取額	76,446
法人税等の還付額	55,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,557

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,339,281	2,201,950
売掛金	259,833	249,564
原材料及び貯蔵品	83,369	85,781
繰延税金資産	25,280	66,684
その他	35,759	82,364
貸倒引当金	△680	△780
流動資産合計	2,742,844	2,685,565
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,396,185	9,396,185
減価償却累計額	△4,043,516	△4,136,393
建物(純額)	5,352,669	5,259,792
土地	2,972,803	2,692,566
その他	7,065,887	7,125,833
減価償却累計額	△6,279,645	△6,361,462
その他(純額)	786,242	764,371
建設仮勘定	58,472	34,582
有形固定資産合計	9,170,186	8,751,312
無形固定資産	59,588	64,333
投資その他の資産	299,910	301,342
固定資産合計	9,529,686	9,116,988
資産合計	12,272,531	11,802,553
負債の部		
流動負債		
買掛金	437,820	407,329
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	68,800	11,100
未払賞与	134,000	118,200
前受金	136,339	61,795
ポイント引当金	2,797	3,258
その他	405,588	226,710
流動負債合計	1,485,346	1,128,393
固定負債		
長期借入金	900,000	900,000
再評価に係る繰延税金負債	530,351	503,998
退職給付引当金	898,953	958,904
役員退職慰労引当金	157,287	141,368
その他	287,868	280,868
固定負債合計	2,774,460	2,785,140
負債合計	4,259,806	3,913,533

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	652,970	472,742
自己株式	△26,120	△26,599
株主資本合計	7,444,860	7,264,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,587	△17,386
土地再評価差額金	570,450	642,253
評価・換算差額等合計	567,863	624,866
純資産合計	8,012,724	7,889,019
負債純資産合計	12,272,531	11,802,553

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)
売上高	2,571,721	2,682,665
売上原価	812,901	880,030
売上総利益	1,758,820	1,802,634
販売費及び一般管理費	1,841,285	1,808,334
営業損失(△)	△82,465	△5,700
営業外収益		
受取利息	139	95
受取配当金	1,523	1,501
その他	2,019	-
営業外収益合計	3,681	1,597
営業外費用		
支払利息	3,136	2,522
その他	176	77
営業外費用合計	3,312	2,600
経常損失(△)	△82,096	△6,703
特別利益		
補助金収入	76,446	-
受取和解金	-	49,257
投資有価証券売却益	-	5,000
特別利益合計	76,446	54,257
特別損失		
固定資産除却損	0	2,634
減損損失	-	204,661
特別損失合計	0	207,296
税引前四半期純損失(△)	△5,650	△159,742
法人税、住民税及び事業税	20,513	2,063
法人税等調整額	△7,064	△56,046
法人税等合計	13,448	△53,982
四半期純損失(△)	△19,098	△105,759

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△5,650	△159,742
減価償却費	178,876	177,743
退職給付引当金の増減額(△は減少)	63,998	59,951
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△460	△15,919
貸倒引当金の増減額(△は減少)	80	100
受取利息及び受取配当金	△1,662	△1,597
支払利息	3,136	2,522
補助金収入	△76,446	-
受取和解金	-	△49,257
減損損失	-	204,661
営業債権の増減額(△は増加)	△24,419	10,269
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,930	△2,412
未収還付消費税の増減額(△は増加)	68,413	-
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,643	△30,491
未払金の増減額(△は減少)	△121,393	△11,270
未払費用の増減額(△は減少)	9,202	7,225
未払賞与の増減額(△は減少)	△10,600	△15,800
未払消費税の増減額(△は減少)	75,817	△161,799
前受金の増減額(△は減少)	6,450	△74,544
その他	5,428	△10,668
小計	97,058	△71,027
利息及び配当金の受取額	1,662	1,597
補助金の受取額	76,446	-
法人税等の支払額	-	△58,048
法人税等の還付額	55,390	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,557	△127,479
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△85,798	△40,160
有形固定資産の売却による収入	-	75,574
無形固定資産の取得による支出	△3,920	△9,218
工事負担金受入による収入	347,557	-
長期預り保証金の返還による支出	-	△7,000
その他	5,015	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	262,853	19,195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△28,576	△28,706
その他	△769	△339
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,345	△29,046
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	464,065	△137,330
現金及び現金同等物の期首残高	1,660,977	2,339,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,125,043	2,201,950

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,542,956	28,765	2,571,721	-	2,571,721
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,542,956	28,765	2,571,721	-	2,571,721
セグメント利益又は損失(△)	△97,625	15,160	△82,465	-	△82,465

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成27年12月1日 至 平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,653,726	28,938	2,682,665	-	2,682,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,653,726	28,938	2,682,665	-	2,682,665
セグメント利益又は損失(△)	△20,737	15,037	△5,700	-	△5,700

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。